



不登校予防、対応の 取り組みの充実を

矢加部 茂晴 議員

学校教育課長 スクールカウンセラーは県費で配置されている。市単独の配置で4時間増やせば、現在の財政状況では非常に厳しい。

問 本市の教育ビジョンの推進計画の中で、不登校対策協議会を設立するとある。

教育長 協議会の立ち上げは必要だ。一定の財政的な裏づけが必要となるが、今後検討していく。

来年度から始まる 放課後教室への対応は

問 文部科学省と厚生労働省は来年度から全国すべての公立小学校で放課後も児童を預かることを決めた。

大まかな内容としては、全児童対象の時間帯と、それ以降の親が留守の家庭の子供を対象とする時間帯の二本立てとしている。この放課後教室への対応はどうか。

市長 本市には市民主導の児童保育という大変誇るべきシステムがある。ここにこの放課後教室という新しい考え方が出てきたわけだが、今までの児童保育の歴史を横にやって全部行政が担うということは本来の趣旨からはずれれると思うだけに、筑後市らしいものをつくらなければならない。

問 今年8月の文部科学省の学校基本調査速報によると、中学生の不登校の割合は昨年度4年ぶりに増加に転じている。本市の現状はどうか。

学校教育課長 南筑後教育事務所管内では増加傾向だが、筑後市では、小学校では3人減少し3人、中学校では7人減少し41人で、若干だが減少している。

問 昨年度まで週8時間中学校に配置されていたスクールカウンセラーが、今年度半減された。時間延長はできないかという声もある。



古川小学校の放課後の風景

筑後市の観光推進による まちづくりを

入部 登喜男 議員

問 1点目に観光衰退に対する認識を問う。私が察するところ、行政が観光については余り関心があるようには感じない。

とを是非実現の程を願い、期成会会長としての桑野市長のご意見をお伺いする。

2点目に筑後市が今後ますます発展するための施策がいかお伺いする。私は私なりに浮上るための施策がそれとも愚案かは皆様の判断だが3点目として、現在新幹線船小屋駅と言っている駅名を新幹線「筑後」船小屋駅と筑後の2文字を入れて改名出来ないかと思っている。

市長 筑後市には沢山の観光資源があるが有効に活用されているかとなれば首をかしげざるを得ないが今後行政と地域が一体となつてがんばって行きたい。筑後市の浮上にとの提案の筑後船小屋駅名にしたらと

の提案は大変素晴らしいこと。しかし、実現に困難な状況が二つある。期成会の中には「筑後市の顔を立てて来ただけ」という消極的な考え方のところもある。また駅名を改名する費用は「原因者負担」で全額筑後市の負担となる。その両難問に向つてどう解決するか努力しながら対応したい。

その理由、①九州新幹線船小屋駅期成会参加の各自治体も全部同じ筑後地方の自治体である②現在の船小屋駅の知名度が低い③別の新幹線ルートにも昔名の冠を駅名の上につけているところが実在している等々、筑後地方全体の宣伝になる。毎日毎日新幹線の車中で筑後の名前を放送しこれが未来永劫に続く。こうなるこ



新幹線船小屋駅予定地